

## 中期経営計画の理念 ～我々は“なぜ”「本業支援」に取り組むのか？～

必要としている支援を受けられていない中小企業の皆さまの力となるため

地元の復興ならびに地方創生に貢献するため

じもと  
グループの  
目指す姿

- 「本業支援」でお客さまの喜びと成長を通して、地域経済の発展・地方創生に貢献していく。
- グループの統合効果を最大限に発揮し、地元の復興の一助となる。
- グループの収益確保と財務の健全性確保に努め、安定した顧客基盤、収益基盤を確立する。

キーワード  
Keyword

顧客本位の  
本業支援

統合効果発揮

### 2020年度 施策

#### 未曾有のコロナ禍「今こそ本業支援！」

- 資金繰り対応チームの設置
- 休日相談窓口の設置

中小企業  
成長戦略の深化

融資審査ノウハウの  
共有・向上

非金利収入増加戦略

IT・FinTechの活用

営業店業務のプロセス効率化

店舗役割と  
人員配置の見直し

バックオフィス、  
事務の統一

子銀行の監査等  
委員会設置会社移行

グループ監査  
体制の強化

ESG・SDGsの情報開示

### 計数計画と経営指標

	2018/3期 (始期)	2019/3期 実績	2020/3期 実績	2020/9期(中間期) 実績
コア業務純益	44億円	41億円	48億円	37億円
当期(中間)純利益	34億円	18億円	19億円	2億円
コアOHR	85.27%	85.74%	83.13%	75.47%
預金平残	23,131億円	23,063億円	22,974億円	24,325億円
貸出金平残	16,689億円	17,029億円	17,505億円	18,044億円
自己資本比率	8.70%	8.39%	8.07%	8.29%
顧客向けサービス 業務利益(始期比増加額)	▲28億円 ( - )	▲15億円 (+13億円)	▲7億円 (+21億円)	4億円 (+33億円)

※顧客向けサービス利益=貸出残高×預貸金利回り差+役員取引等利益-営業経費

## 2020年度上期の主な取り組み

### コロナ禍、今こそ本業支援！

#### 1. お客さまの資金繰り支援最優先

コロナ禍の中、本業支援を通してお客さまの資金繰り支援に最優先で取り組み、両行でコロナ関連融資を5,417件1,323億円実行しました。

(金額単位:億円)

	件数	金額
両行合計	5,417	1,323
プロパー	199	171
保証付	5,218	1,152
条件変更	559	186

#### 2. コロナ関連マッチング増加

両行間ビジネスマッチングは、コロナ禍で商談会が実施できず、紹介件数は減少しましたが、コロナ関連のマッチングが牽引し、成約件数が60件(前期比+34件)となりました。

	紹介 件数	前年比	成約 件数	前年比
両行間 ビジネスマッチング	92件 (42件)	▲75件	60件 (41件)	+34件

※( )内はコロナ関連の件数

### ガバナンス態勢の強化

#### 1. 子銀行の監査等委員会設置会社移行

本年6月に両子銀行は監査等委員会設置会社へ移行し、じもとグループの機関設計を統一しました。これにより、両行社外取締役が合わせて2名から6名となりガバナンス態勢が強化、両行監査部と監査等委員会連携によるグループの監査体制強化等が進展しました。

#### 2. ESG・SDGsへの取り組み

今期より、じもとグループのESG・SDGsの取り組みをホームページで情報開示しています。上期は、両行合計31事例を公表しました。